

## 2022 年度人文社会科学部後援会支援事業報告書

申請者：星純子

事業区分：学生の教育研究活動支援

事項：実地学習（笠間市役所ほか）への交通費補助

期間：2022 年 7 月－12 月

対象学年：3 年次 13 人（うち支出者 9 人）

### 内容

報告項目：社会調査演習Ⅳ実地調査（3 教員担当の授業。うち星担当学生分についての報告）

報告内容：以下に記述

#### 1. 活動目的

2020 年以降、新型コロナウイルスは人々の移動を大きく制限した。では関係人口の創出を説いていた地方創生はどのように変わったのか。この授業は 2018 年から台湾インバウンド観光客誘致を進め、2020 年のコロナ禍以後も台北に事務所をおいてきた笠間市に注目して、コロナ禍における地方と台湾の交流の在り方の変化、地方創生そのものの変化を考察した。

これを達成するため、社会調査演習Ⅳの一環として調査を行った。

#### 2. 活動内容と成果

授業では、観光班、地方創生班、台湾班に分かれ、調査を行った。観光班は、主にグリーンツーリズムに焦点を当て、クラインガルテンをフィールドとして調査を行った。地方創生班は若者の暮らしやすさと地方創生との関係性、笠間市における地方創生の成果と課題、地方創生をめぐる数値設定に関する調査を行った。台湾班は主にインバウンド観光客誘致、笠間市内における酒蔵ツーリズム、給食や農産物を通じた交流の実態について調査を行った。

調査の一環として、先行研究の検討、問題設定、インタビュー先選定ののち、学生が企画して笠間市役所の複数の課、ファミリーサポートセンター、クラインガルテン、民間の観光農園、酒造会社、台湾在住の笠間出身者、笠間商工会、県庁国際観光課など合計 13 件にインタビューを行った。それらの交通費に後援会費を充当した。

調査の結果、第一に観光班は笠間市がグリーンツーリズムの先駆的存在であること、またしかしそれゆえに元来の長期滞在型が社会の変化に合わせて時代遅れになっていることを探し当てた。また、笠間市は元来東京からそう遠くない位置にあり、マイクロツーリズムと呼ばれる近距離観光の推進に関してはかなりコロナ禍においてもポテンシャルを持つことが判明した。

第二に、地方創生班は笠間市が若者の笠間移住を推奨しているが、その決め手になるような他縣市と異なる突出した魅力があるわけではなく、また子育て世帯のニーズが高い安価なベビーシッター派遣制度も隣接する水戸市などに比べると整備が遅れていることが分かった。また、2014年以降の市役所が策定した地方創生総合戦略については現在第二期を迎えており、事業内容は地方創生を中央政府が策定する以前から続く政策が多く、一定の連続性がみられる反面、事務作業の負担は多く、地方自治とは逆行する中央政府への依存が進んでいることが判明した。地方創生をめぐる政策評価の一環として導入された数値目標も、数値で評価できない部分が多く、客観的な政策評価とはほど遠い状況にあることが確認できた。

第三に、台湾班はインバウンド観光や農産物による日台交流を検証した。笠間市は数少ない市単位の交流事務所を台北におく日本の自治体で、2018年の事務所設立以来、ゴルフツアー客を中心に台湾観光客の誘致を進めてきたことが分かった。これは台湾にゴルフ場が少なく、一方笠間市は9つのゴルフ場を抱える市であることを考えれば、かなりターゲットを絞った戦略であり、実際に約80件ほどのツアー利用があった。しかし、2020年以降のコロナ禍で誘致策が頓挫し、またコロナ禍以降マスツーリズム自体が凋落傾向にあり、個人客誘致への転換に成功できるのか、課題があることが判明した。農産物の交流については県庁国際観光課もこれを進めており、台湾政府農業委員会農糧署（日本でいう食糧庁）からの補助金もあって、台湾バナナを一本80円で買えるというかなり安価な価格設定で買えるという状況が続いてきた。台湾バナナを給食に導入して台湾に笠間の存在をアピールしたり、笠間市の子どもたちに台湾のことを知ってもらい取り組みはすでに数年続いており、台湾産バナナは一定の存在感を笠間で示している。しかし、一本80円という価格設定は台湾政府の補助金が入っているものの、給食費をかなり圧迫しており、そう簡単に給食に出せる価格ではない。加えて、県庁国際観光課は笠間市以外の自治体でも観光客誘致策の一環として台湾産バナナの給食使用と県内自治体に呼び掛けているが、そのための予算を県が出すわけではなく、市町村だけでこの交流事業を続けることの限界も露呈された。

グリーンツーリズム、地方創生、台湾との交流どれをとっても学生13名はその一部を垣間見たにすぎないが、自分で企画し、調査した成果は学生にとって大きな収穫となっただけでなく、現在進行中の上記の課題について学問的な貢献もあったと思われる。

### 3. 訪問先の一部

上記訪問先での写真を以下に載せる。



笠間市商工会でのインタビュー（顔が特定できないようにしてあります）

このたびの調査で、現場の雰囲気や当事者の会話など貴重な機会を頂きました。後援会費からのご支援により交通費の一部を補助していただき、感謝申し上げます。